



『『大漢和辞典』の百年』刊行記念セミナー  
大漢和から辞書づくりを考える

---

池澤 正晃

2024年2月29日 日本電子出版協会セミナー

# 『大漢和辞典』の歩み

# 関東大震災絵はがき



# 中国留学中の諸橋轍次



2024/02/29

大漢和から辞書づくりを考える

# 昭和3年新築の事務所



2024/02/29

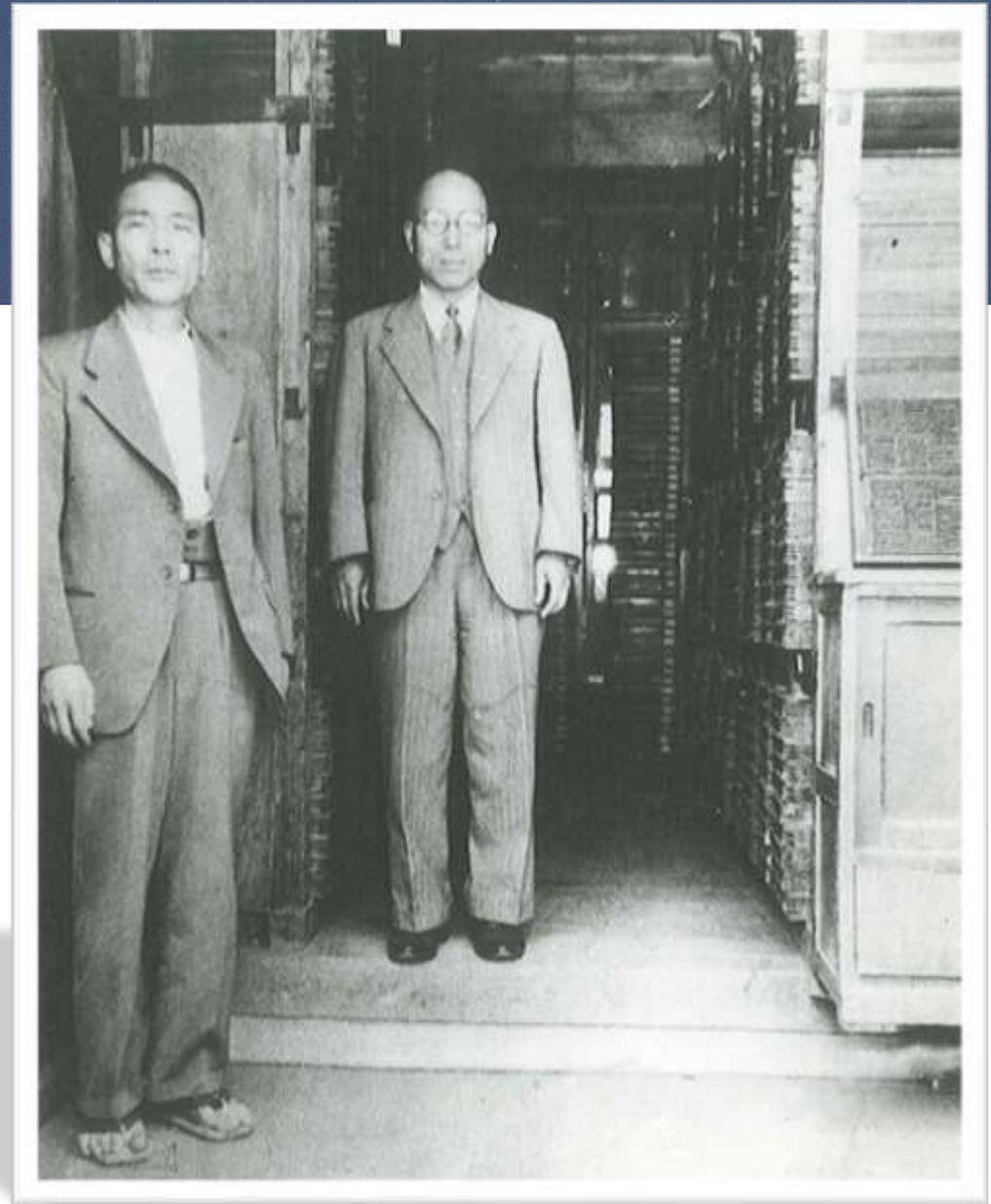
大漢和から辞書づくりを考える

# 遠人村舎



# 小林康磨と鈴木一平

---

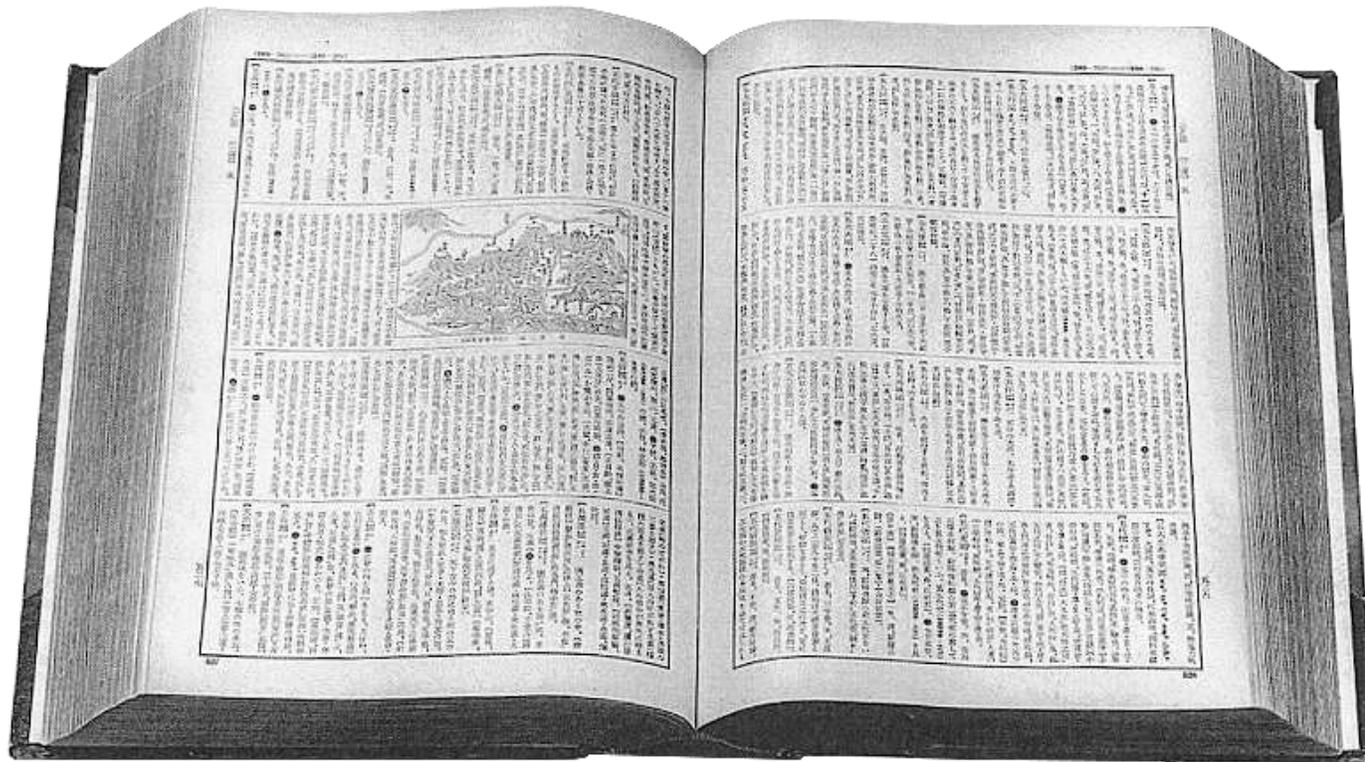


2024/02/29

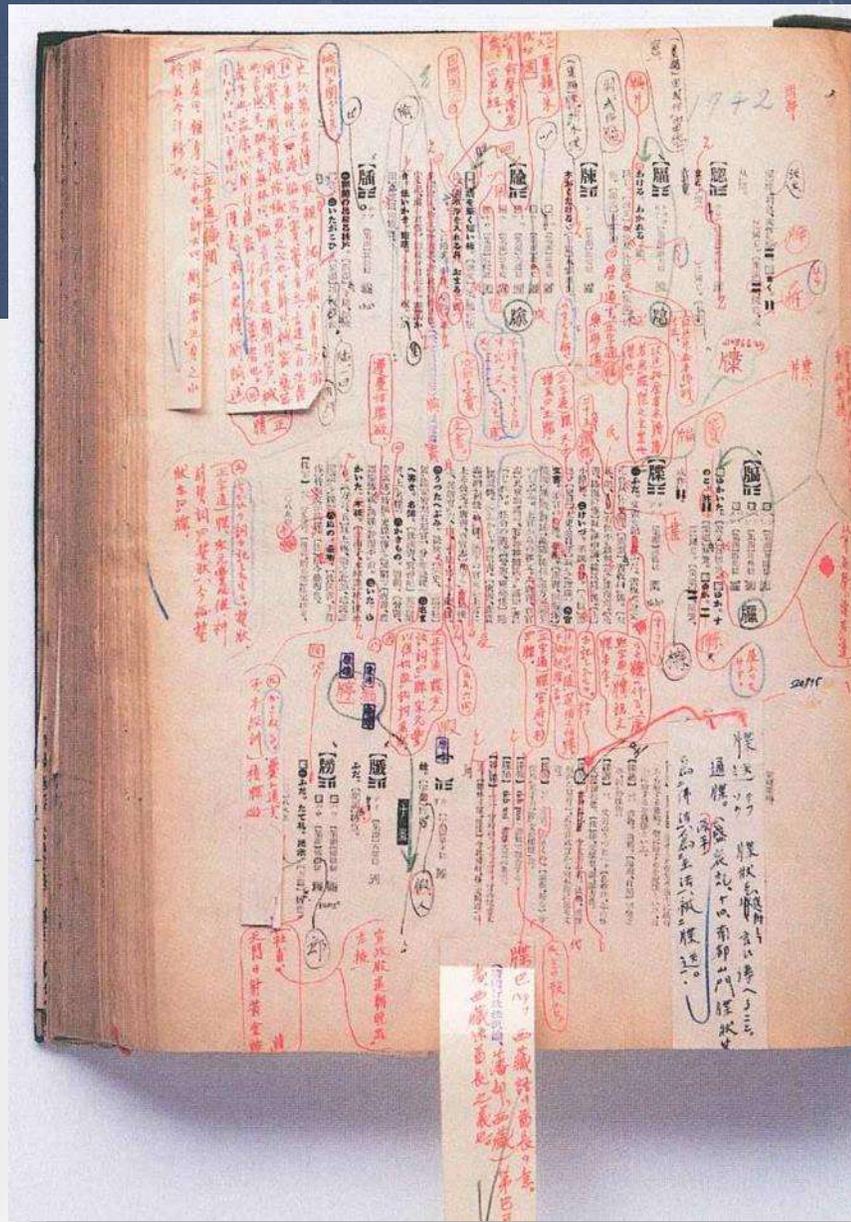
大漢和から辞書づくりを考える

# 『大漢和辞典 [戦前版]』

\* 1943年「巻一」のみ刊行



# 戦災を免れた校正刷の一部



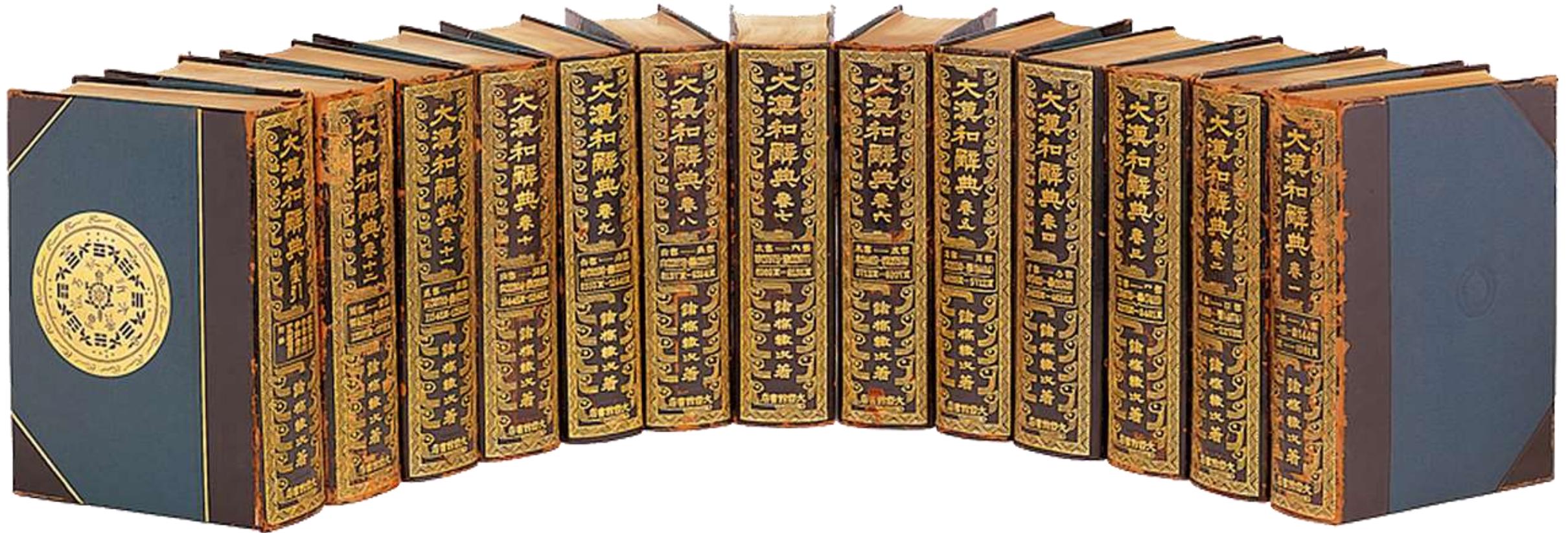
# 原字制作中の石井茂吉

(『文字に生きる 〈写研五〇年の歩み〉』より)



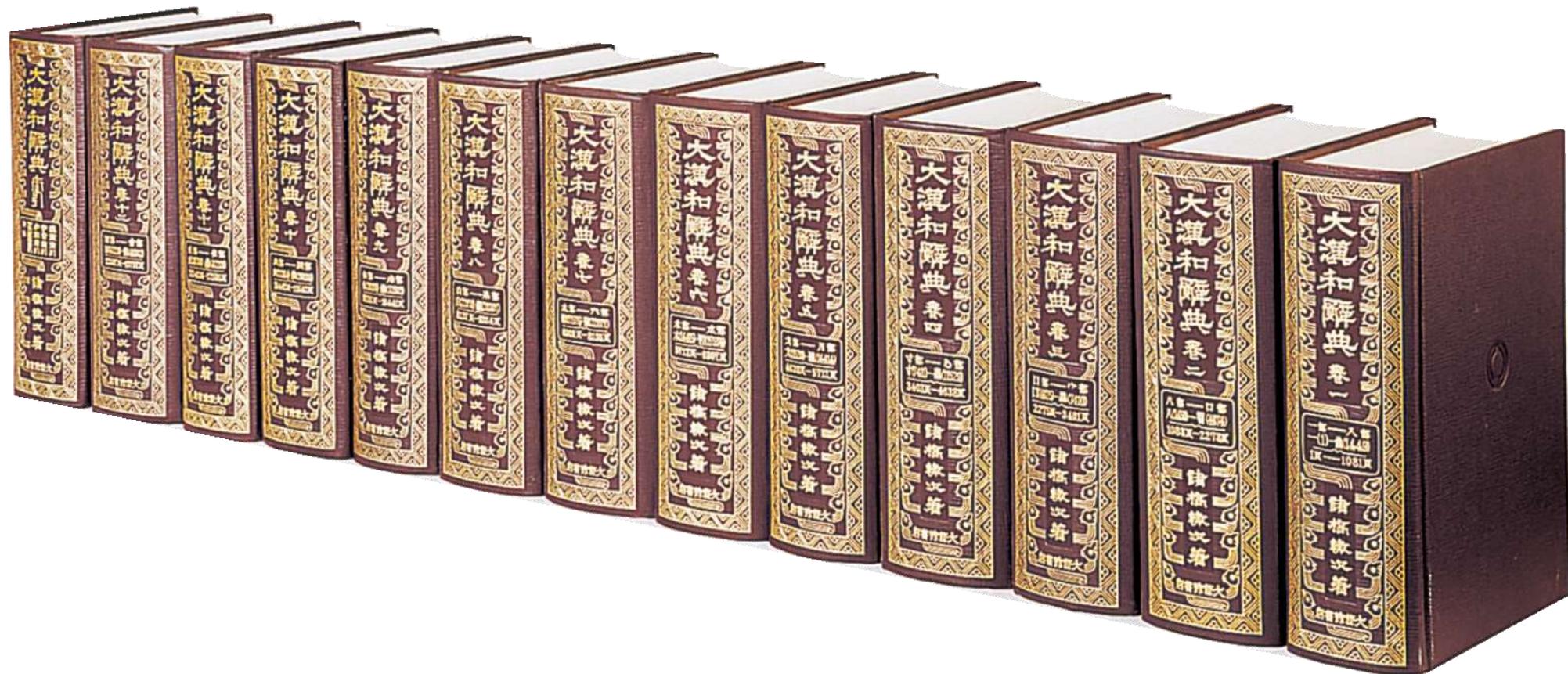
# 『大漢和辞典 [初版]』

\* 全十三卷、B5判・特製本／上製本 1955～1960年



# 『大漢和辞典 [縮写版]』

\* 全十三卷、A5判・上製 1966～1968年



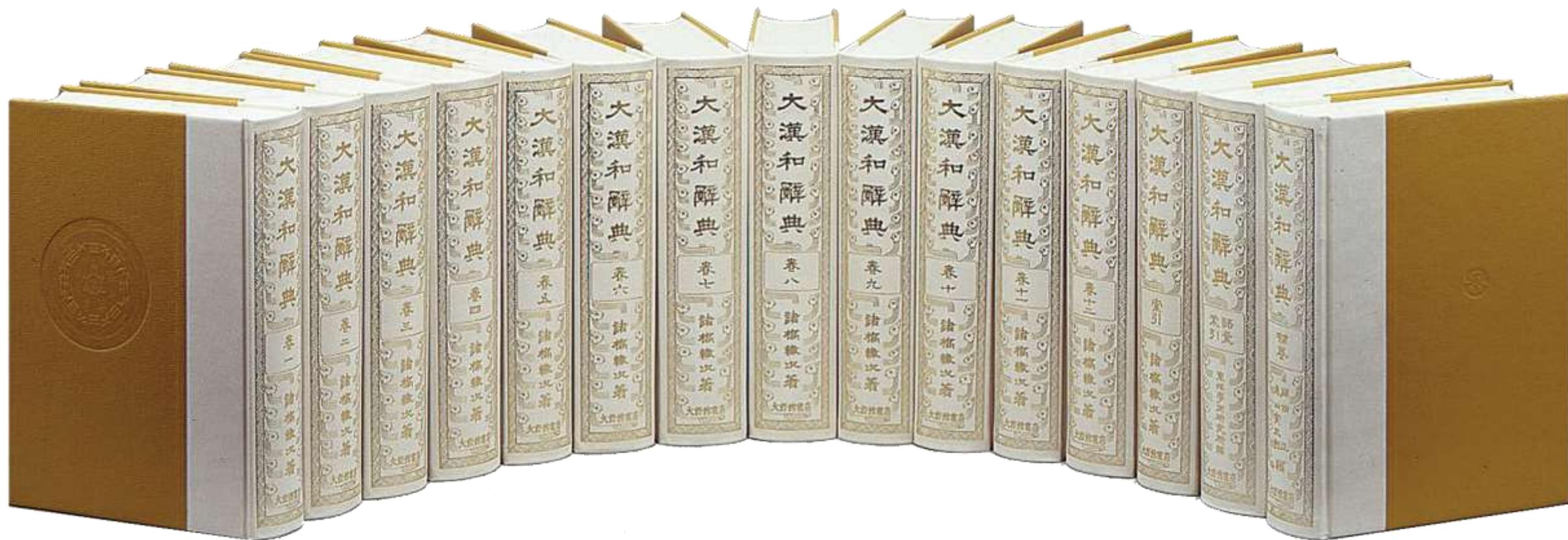
# 『大漢和辞典 [修訂版]』

\* 全十三卷、A4判・特製本／上製本 1984～1986年



# 『大漢和辭典 [修訂第二版]』

\*全十五卷、B5判・上製



# 『大漢和辞典 [デジタル版]』

- \* USBメモリ・函入り 2018年
- \* 語彙検索アップデーター 2023年



# 辞書づくりを考える

## 形（字形）・音（漢字音・訓）・義（意味）

＊基本的に、漢字一字に対してこの三つの要素とその漢字で構成される熟語の意味を一冊に盛り込む作業が、「漢和辞典をつくる」ということになる。

# 辞書の三要素

---

規範性

機能性

可読性

# 辞書の効用

---

「千万言を一編の中に収めて、秩序あり、系統あり、索(もと)めて得ざるなく、探りて瞭(あきら)かならざるなきは、字書の効なり。而して其取材は該博ならざる可(べか)らず、其解釈は簡明ならざる可らず。其典拠は確實ならざる可らず、其索引は至便ならざる可らず、字書編纂の業豈(あに)容易ならんや。」  
(中村久四郎・諸橋轍次監修『熟語正解 漢和大辞典』立川(たつかわ) 文明堂編集部「緒言」)

# 辞書が世に出るまでには様々なケースがある

---

- ①塚本勲・北嶋静枝『朝鮮語大辞典』全三巻（1986年 角川書店）
- ②大槻文彦『日本辞書 言海』全四冊（1891年 自費出版）
- ③大槻文彦『大言海』全四巻（1935年 富山房）
- ④上田万年・松井簡治『大日本国語辞典』全五巻（1929年 富山房）
- ⑤中村元『佛教語大辞典』全三冊（1975年 東京書籍）
- ⑥新村出『広辞苑』全一冊（1955年 岩波書店）

# なぜ、「辞書をつくる」か

- ①主に研究者が、それぞれの専門分野での研究過程で、既存の辞書に飽き足らず自ら理想的なものをつくりたいと思ったとき。
- ②出版社が、読者のニーズのもとに企画、その分野での研究者に執筆または編者を依頼して商品化しようとしたとき。

「これらが三拍子も四拍子も五拍子も揃ってこそ、  
最良無比の大辞典が出来よう。」

—新村出「辞書雑感」（『富山房五十年』昭和11年発行）

- 編者の堅忍不拔、用意周到、統制力組織力。
- 出版業者の資本力と寛容持久。
- 印刷所側の理解洞察。
- 読者の鷹揚な忍耐力。

# 大漢和にかかわった人々

## 諸橋轍次：近藤正治

[大東文化学院] 川又武・真下保爾・渡辺実一・佐々木新二郎・山田修次・福地征太郎・大島宇一・原田種成……

[東京高等師範学校・東京文理科大学・東京教育大学] 近藤正治・小林信明・渡辺末吾・鎌田正・米山寅太郎……／土橋八千太

## 鈴木一平：川上市郎

### 【戦前版】

[木版・活字彫刻] 岡（木版所）、片岡梅治、木村直吉、君塚與一（木版関係者他二十余名、戦災に依り資料焼失）

[整版] 小林康麿（大修館書店附属組版工場（錦美堂整版所）工場長）／ [印刷] 三共舎印刷所

[製本] 牧製本所／山谷製本／ [本文用紙] 王子製紙十條工場

### 【初版】

[写真植字] 石井茂吉 [写真植字機研究所（写研）]／大修館書店写真植字部

[製版] 近藤林蔵 [近藤写真製版所]／ [印刷] 横山豊 [横山印刷]

[製本] 関山製本（特製本）／牧製本（上製本）／ [本文用紙] 本州製紙江戸川工場

翻って思えば、語辞は煙海の如く広く、  
時世の転変は走馬燈に似て迅い。

—諸橋轍次「大漢和辞典修訂の序」

ご清聴ありがとうございました。

## 『大漢和辞典』の百年

池澤正晃 著

ISBN : 9784469232875

判型・ページ数 : A5・260ページ

定価 : 3,740円 (本体3,400円 + 税10%)

